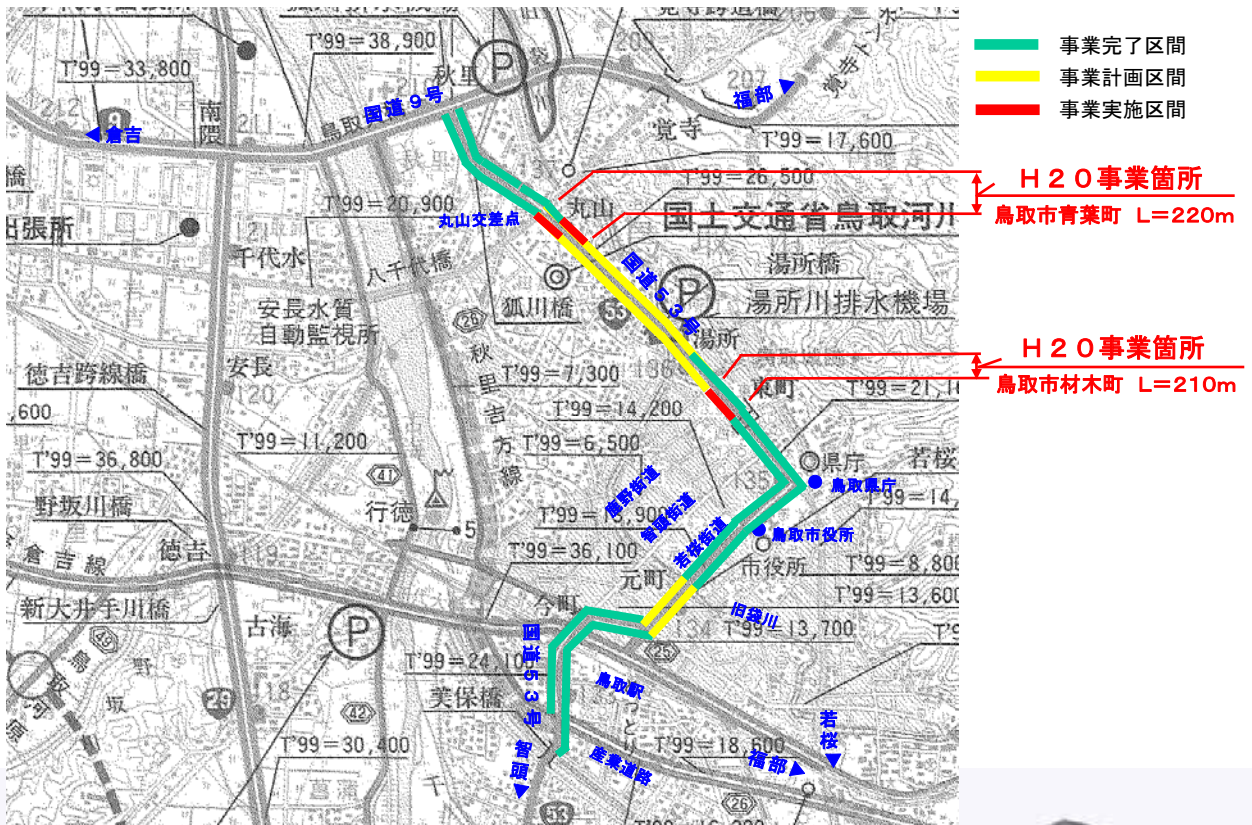


電線共同溝整備事業

電線共同溝は、道路地下に光ファイバー、電力ケーブル等をまとめて収容するもので、地中化により、災害時の避難路・輸送経路の確保、歩行者空間及び交通安全の確保、路上工事の削減による渋滞の減少、良好な都市景観の形成、電力・通信の安全性・信頼性の向上等が図られます。

鳥取市内の一般国道53号で整備を進めており、これまでに鳥取市天神町から今町、新町から本町及び西町で整備を完了しています。

平成20年度は一般国道53号の鳥取市材木町および青葉町の事業を進めていきます。



電線共同溝 (C·C·BOX) のイメージ図

